

第37号 平成30年12月27日発行

額田の城下町

額田城跡保存会 会報部会

～目次～

額田城跡に思いを寄せて 他	1P
歴史の散歩道	2P
夏ボランティアの感想	3P
活動の記録、今後の活動	4P

「額田城跡に思いを寄せて」

宮崎 昇一

先日、額田城跡保存会の清掃作業に参加しました。実は、清掃作業、初めての参加になります。玉子さんや一彦さんに誘われて気にはなっていたのですが…。町内の回覧板に案内があった。良い機会かなと思いい参加しました。

刈払い機は使えるので、なんとか役には立てるかなと思っていました。まさか自分の背丈ほどの草を刈るとは…。コツを掴むまでチョットかかりました。

休憩時間には、会員の皆様に色々お話を伺ったり、手作りの美味しいものを頂いたり、あっとい間楽しい二時間半でした。

額田城本丸跡から南側の有ヶ池跡方面を展望した時、私はチョッピリ懐かしさを覚えました。

似ているのです、私の生まれ育った水戸の偕楽園から、千波湖方面を展望した時の風景に。

戦国時代の城造りって面白いですね。

宮崎様の故郷への思い、素敵ですね。ありがとうございます。

「保存会15年」

原 公史

15年間、思い出をたくさんいただきました。

額田城祭り、芋煮会、額田城逍遙の高世さん、踊り振付の本田さん、新春講演会の仲田館長、川又さんの蛸養殖、小学生との米作り、埼玉県から間伐伐採にきた楸輪さん、森林ボランティアの小貴会長のグループ、勤ボラの片野さん、地域のみなさんとの視察研修、など。その間、活動してきた仲間も何人か天国に旅立ちました。

みんな良い人ばかり、こんな環境の中で過ごせたとは、大変ありがたいことです。若い会員も、額田地区以外の援軍も来てくださるようになりました。

城跡はきつと蘇ります。辛抱、辛抱、あきらめず。

【歴史の散歩道】

佐竹にあらがった猛将 小野崎昭通からの手紙

—新発見！「小野崎家文書巻」の世界—

額田城、最後の城主 小野崎昭通に関する古文書が、近ごろ次々と発見されていますね。

伊達政宗からの密書「起請文」、昭通の後半生について書かれた「額田城主陥落之記」、そして、今回の「小野崎家文書巻」です。

「小野崎家文書巻」の発見は、東京の古書店のカタログだそう、これを平成30年4月に那珂市が購入したそうです。まさか古文書力タログで発見とは。どこにお宝が隠れているかわかりませんね。

そして、9月17日（月・祝）、那珂市総合センターらぼーるにて、歴史民俗資料館歴史フォーラム「佐竹にあらがった猛将 小野崎昭通からの手紙 新発見！「小野崎家文書巻」の世界」が開催されました。

さて、さて、新発見の「小野崎家文書巻」は、昭通の7通の手紙を巻物にしたもので、どういった内容のものなのか・・・。

「」まで読んでいただいた方は、もう少しだけ頑張ってお読みください。

関ヶ原の戦いで曖昧な態度をとって秋田に飛ばされた佐竹氏のことは、皆さんもご存じだろうと思います。額田城主 小野崎昭通と、この佐竹氏との間で二度の乱、いわゆる「神生の乱」と「額田の乱」がありました。昭通は、一時は、佐竹氏に従って小田原の北条攻めをしている豊臣秀吉の元へ参陣します。しかし、小田原参陣の翌年。昭通は、佐竹氏に再び攻められて、敗れ、逃げて伊達政宗に保護されるわけです。

7通の手紙の内、1通は「神生の乱」のちよつと前、6通は二つの乱の頃に昭通が書いた手紙だそうです。

では、誰に書いた手紙かというと、全て木田余氏宛て。木田余氏は、戦国の世が終わり、この手紙を巻物にし、昭通の元での活躍を誇りにしていたのかもしれないとのこと。これが「小野崎家文書巻」です。

「木田余」ですが、土浦に木田余城（きだまりじょう）という城があつて、その城主小田氏は額田地域とは無関係らしいのですが、「神生の乱」の約10年前に佐竹氏によって木田余城が攻め滅ぼされました。もしかしら、この佐竹氏に反感をもつ誰かが木田余を名乗って、佐竹氏に逆らう昭通の元に行ってもおかしくないなあ・・・。

木田余を名乗れば、あからさまに反佐竹氏的な感じがしますもんね。まあ、ここは、勝手な想像です。

ところで、昭通からの手紙は、
1通目 「長前」の地を木田余助太郎に与える。

2通目 神生の乱での活躍を認め「右馬助」の地位を与える。

3通目 昭通が木田余右馬助の進退を保証する。

4通目 昭通が木田余右馬助に対して、悪いことをした者の取り締まりを命じる。

5通目 「神生の乱」や「額田の乱」での木田余右馬助の活躍を賞する。

6通目 「米崎」の地を木田余右馬助に与える。

7通目 「嶋」と「南前」の地を木田余右馬助に与える。
といった内容です。

右の手紙のなかには、ほぼ同様の内容で、昭通の重臣 大窪采女にも出しており、木田余氏も大窪氏と同様に高い地位にあったようです。しかし、微妙に文言が違い、大窪氏よりも木田余氏の方が敬意を払っているとのこと。

気を遣っていたとすれば、信用度・信頼関係は大窪氏の方が上だったのかもしれませんが、これも、勝手な想像ですが。

夏のボランティア体験 (2018. 8. 18)

参加者から感想をいただきましたので紹介いたします。

小学校6年 Nさん

ボランティア体験で草取りをしたりして、いい体験になったと思いました。ボランティアの草取りをするのは、いつも家とかではやらなかったりするけど草取りをしたりして、家でもやりたいと思いました。草取りをしている途中、虫とか多くいたけど草取りが終わると達成感があり気持ちよかったです。

Nさん

初めて親子で参加しました。(子どもは)家では草取りはしませんが、自分からやる姿を見ることができてよかったです。私も地域の方、一緒に参加したボランティアの方と交流を深める事ができ、参加して良かったと思いました。また機会があれば別のボランティアにも参加したいです。



水戸農業高等学校 Nさん

最初見たときは、たくさん生えていた草も、あっという間にきれいになっていて、達成感やとてもやりがいを感じることができました。いつもはやらない家の庭の手入れも少し手伝おうかなという気持ちになりました。初めて、額田城跡地を見て、すごく広くてびっくりしたし、緑の多い場所だなと思いました。また、団体の方々が優しく教えてくれたり、終わったあとはアイスをくれたりと、良い人ばかりで良かったです。有意義な時間でした。ありがとうございました。また来たいです。

那珂高校3年 Kさん

保存会の皆さんと花畑の手入れを行い、城跡を保つ活動に参加でき、とても貴重な経験をさせていただきました。ボランティアを通して、地域の方との協力することの大切さを改めて感じました。作業をしながら地域の方と会話をしていくうちに、自分の緊張を和ませることができました。このように、ボランティア活動を積極的に行っていきたいと思います。

【活動の記録】

○奉仕作業（ボランティア）

平成30年度		
4月21日	第3土曜日	12名
5月12日	第2土曜日	21名
6月17日	第3日曜日	10名
7月21日	第3土曜日	5名
8月18日	第3土曜日	18名
9月15日	第3土曜日	8名
10月20日	第3土曜日	12名
11月17日	第3土曜日	14名第5自治
12月15日	第3土曜日	11名

作業内容は、花壇等の手入れ・剪定、遊歩道清掃・安全点検、除草、枝払い、倒木伐採、枝かたづけ等です。

○管理作業（手当支給あり）

平成30年度		
5月30日	第5水曜日	7名
6月2日	第1土曜日	9名
6月23日	第4土曜日	13名
7月7日	第1土曜日	9名
7月14日	第2土曜日	10名
8月25日	第4土曜日	13名
9月22日	第4土曜日	14名
10月5日	第1金曜日	5名
10月13日	第2土曜日	15名
11月10日	第2土曜日	13名
11月24日	第4土曜日	16名
12月8日	第2土曜日	11名

【今後の活動】

○奉仕作業（ボランティア）

3月16日	第3土曜日	9:00~11:00
-------	-------	------------

○管理作業（手当支給あり）

平成30年度の管理作業は、終了いたしました。

【額田コミュニティ広場完成記念式典出店】

額田地区まちづくり委員会主催の「額田コミュニティ広場完成記念式典」に、額田城跡保存会でも出店のご協力をさせていただきました。出店の内容は、おにぎり、漬物の無料サービス、刃物（家庭用包丁等）研ぎ、刈払機・チェーンソーのメンテナンス・修理、ソーチェーン目立て等です。

おかげさまで、おにぎり、漬物は百食分用意したのですが、開店と同時に完売です。また、刃物研ぎが思いのほか大盛況で、約50丁分の研ぎ依頼があり、研ぎ師が大慌てで対応しました。



編集後記

近ごろ、保存会の高齢化問題を気にしておりますが、徐々に若い方が来てくれています。ありがたいことです。是非、お友達などを誘って城跡を見に来てください。少しずつでも保存会の輪が広がっていくことを願っています。